

社保クラブだより

第136号

2025年(令和7年)2月28日発行

社会保険俱樂部福島支部



令和7年 福島支部新年会 令和7年1月18日(土) コラッセふくしま「きいちご」

◆ 倶楽部新年会が 開催されました

新年おめでとうございます。

令和七年度倶楽部新年会を、一月十八日(土)に福島市「コラッセふくしま」に於いて、二十五名の皆さんにご出席いただいで開催いたしました。

開会にあたり、残念ながら体調不良のため欠席された星支部長に代わり、五十嵐副支部長からの挨拶(本誌掲載)及び船木東北福島年金事務所長からご挨拶(本誌掲載)があり、佐川郡山年金事務所長の乾杯の発声により新春の宴が始まりました。

大半が半年振りの顔合わせにも関わらず、懇親会が始まるとそこしから近況のやりとりや懐かしい話、日々の生活のことや健康のことなど、それぞれのブランクを感じさせない、かの日にタイムスリップしたかのように話に花が咲いていました。

かつて「社会保険一家」と呼ばれていましたが、その「家族の絆」は今も健在なのかも知れません。

楽しい時間が過ぎるのは早いもので、お店の方から時間を告げられて、名残りを惜しみつつ角田会津若松年金事務所長の中締めによりお開きとなりました。

◎ 七年度支部総会の開催予定について

令和七年度福島支部総会を、左記のとおり予定しておりますので、ぜひご予定いただきますようお願い申し上げます。

■ 日時

令和七年六月七日(土)
十五時〇〇分から 理事 会
十五時三十分から 支部総会
十五時五十分から 記念撮影
十六時〇〇分から 懇親 会
コラッセふくしま

■ 場所

コラッセふくしま
展望レストラン「きいちご」

新年会の開会にあたって

社会保険俱樂部 福島支部
副支部長 五十嵐 和典

新年おめでとうございます。

本日は、年明けの何かとお忙しい中、また大変寒さ厳しい中を、倶楽部新年会にご出席いただきまして、本当にありがとうございます。副支部長を務めております五十嵐でございます。

星支部長が体調不良のため欠席となりましたので、代わって一言ご挨拶をさせていただきます。

昨年の元旦の能登半島地震、その後の豪雨被害、また、今年年明け十三日には日向灘で地震があり、自然災害が不気味に続いております。また、身近なところでは、「物価高」が続いております。

現役の皆さんにとっても、私たち年金生活者にとっても、大変な状況にあります。天才物理学者・アインシュタインが残した「名言」の一つに、「自分のためではなく、誰かのために生きること、生きる価値がある。人との関わりが、人生を豊かにしてくれる。」という言葉があ

ります。

社会保険俱樂部でのこの関りもまた、私たち一人一人の人生を「豊かに」してくれるものであると確信をしておりますし、「人と関わることは認知症を予防する効果がある」とも言われているようです。

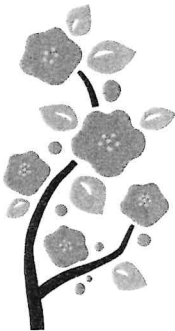
心豊かに生きるためにも、認知症を予防するためにも、社会保険倶楽部を今年もどうぞよろしくお願いいたします。

例年どおり、六月には「総会」も予定しておりますので、またお会いできますことを楽しみにしております。

結びになりますが、皆さまが健康に、笑顔の多い生活ができますこと、そして、豊かで明るい年になりますことをご祈念申し上げます。簡単ですがリリーフの挨拶とさせていただきます。

どうぞご歓談をいただき、楽しい時間をお過ごしください。

本日は、ありがとうございます。



新年のご挨拶

日本年金機構 東北福島年金事務所長



船木 豊史

皆様、新年あけましておめでとうございます。

東北福島年金事務所の船木でございます。本年もよろしく願いいたします。

昨年は新年早々、能登半島地震が発生し大変な一年のスタートでしたが、今年は、福島県内では会津地方での大雪と、そしてインフル・コロナの感染者の拡大と、決してハッピーなスタートではないのかなと思います。クラブ会員の皆様におかれましては特に大きな事故や被害もなく令和七年を迎えることができ、心からお喜び申し上げます。クラブ会員の皆様には本年も一年間お世話になりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は新年会でございますので、目の前にすでに料理やお酒が待ちわびておりますので、日本年金機構の事業状況や令和七年の組織目標

などにつきましては、六月の総会の際にあらためて詳しくご報告いたしますので、私の方からは、県内の所長の異動関係についてのみご報告をさせていただきます。

昨年の総会以降、十月に人事異動がありまして、郡山事務所の所長が、坪谷さんから本日も出席しております佐川所長に交代となりました。結果、県内六事務所中、相馬を除く五事務所の所長が福島県出身者となりました。

ちなみに福島県出身者で県外勤務の所長級の者については、栃木事務所に白岩所長、東京の大田事務所に橋本所長、そして仙台広域事務センターには安田副センター長がおりまして、残念ながら本日は県外勤務の三人と、相馬の高橋所長が欠席となっておりますが、本年も引き続き皆様からのご指導や、優しいお言葉をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、令和七年、福島県社会保険倶楽部の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

会員から近況が

寄せられています

令和七年福島支部新年会の

出欠ハガキより

「いつも元気」と思っていました。が、昨年十一月コロナに感染。本年十月にはペースメーカーを植込み障害者一級になってしまい、遠出もしばらく無理の状態です。

小豆畑 悦雄

☎「ハイ元気ですよ。」「年相応にね。」「終活？ポチポチね。」「じゃあ健康第一にね。」「今年もよろしくね。」

阿部 弘美

変わりなく二本松病院でやっています。元気です。

有壁 譲

いくつか不都合箇所があり通院は欠かせませんが、まあまあ相変わらず元気になっております。

五十嵐 和典

通院中ですが、いたって元気です。今年も残念ながら欠席いたします。

猪狩 明

部活動の如く、八十台を目指して毎日ゴルフ練習場通いです。減量にも効果ありでした。

石井 宏喜

年をとるたびに病院通いが多くなる日々です。今は孫守りで毎日すごしています。

石井 勇新

毎日がテレビの視聴です。週一回の買い物のための外出です。

石山 東二

寒冷のため外出不可。総会の折、顔合わせを考えています。

伊藤 八郎

ふくしま花案内人（市観光ボランティア）二十周年になりました。四月で八十九歳になります。体力的に活動が思うようにできなくなり隠退しました。今年、福島県はデステネーションやゴッホ展など観光の多彩な事業があり、若手後輩に委ねました。この二十年間、多岐の人生を歩んできました。仲間との交流があり、社会保険時代とは違う貴重な体験を得ました。これからも健康に注意し、前向きに過ごしていきたいと思えます。

井上 利明

医療機関六つの科から山ほどの薬をいただいて、野菜作りをしています。昨年は長芋、里芋、菊芋が最良の出来、ゴボウ、オクラ、大根、カブ、白菜等々もよくできました。今年も八十五歳の体に鞭を打って頑張ると思います。盛大な新年会でありますことお祈り申し上げます。

梅津 敏夫

七十六歳になりました。膝の痛みはあるものの、まだ比較的元気で野球の審判をしています。

大竹 昭臣

米寿まであと二年。ゴルフで健康維持を計っています。ボケ予防には教育（今日行くところ）と教養（今日用事がある）が大切とか、肝に銘じてます。

大森 勝壽

昨年も一〇〇日超の登山を楽しみ、特に北海道と西日本を重点的に登り、日本百名山は九十五座に達しました。今年中には完登したいと思っています。

小澤 昭吉

経年劣化に伴い保険にお世話になることが多く、医療保険は良い制度だなーと感謝の毎日です。今回も欠席します。御盛会を祈ります。

小野 征二

相変わらず忙しく動いています。地域の民生委員児童委員として、また年金委員、墓地管理委員としていつもまわりの人といっしょにすごしても住みよい好間をめざして、市（行政）と市民のつなぎをしています。でも後期いや後貴高齢となりました。いつまでできるか？

片寄 隆司

相変わらず（一財）社会保険協会と日本年金機構共済会で週二日ずつ勤務しています。皆様にお会いできること楽しみにしています。

木谷 豊

○非常に残念ですが、五十年以上の歴史がある「年金受給者協会」がこの三月末で解散となります。○私はどうにか元気になっております。

木村 信雄

協会けんぽ本部（四ツ谷）にいます。お近くにお越しの際は是非、お声かけください。お待ちしております。

栗田 直人

入退院の連続ですが、愛用のトラクターで畑作業を続けています。叔父の百歳祝いに参加し、活力をいただきましたから!!

小林 久

足・腰が弱りきつて、今年は妻と一緒にやっていた家庭菜園もできないと思っております。

後藤 泰夫

元気に過ごしております。

後藤 祐次

貴会のご盛会をご祈念申し上げます。

齋藤 智

七十七歳の喜寿つてめでたい？昔、ワクワク大連チャンする台があったから、やっぱりめでたいのだろう。皆様良いお年をお過ごしください。

齋藤 正

年相応に足が弱くなっていますが、頭、体の健康のため、今できるスポーツを楽しんでいます。

齋藤 洋

久しぶりの年男であった令和六年も何事もなく終わりました。これもまた良しと言うことでしょう。年の割には至って健康で晩酌が旨いです。

齋藤 雅裕

当日は、地域の新年会と重なり欠席させていただきました。御盛会をお祈りいたします。

酒井 君穂

十七年ぶりに地元郡山に戻ってまいりました。今年もよろしくお願ひいたします。

佐川 明人

農閑期になり退屈で暇を持て余しています。毎朝出勤する人たちを羨ましく見送っている次第です。会のご盛会をご祈念申し上げます。

佐竹 敦夫

体のあちこちに痛みを抱えながら、とりあえず生きております。

佐藤 賢一

元気でいられることに感謝しております。

佐藤 賢司

令和七年三月に卒寿を迎えます。昭和初期生まれは、デジタル、SNS、サイバー等の適切な日本語の訳語がない社会には、ついて行けなくなりました。今後とも一日一日な

んとか細々と生をつないで参ります。皆様のご健康とご多幸を祈ります。

佐藤 元

終活が遅々として進みません。あの世とやらに行く日まで果たして終えることやら…。

佐藤 憲生

去年、母親が九十四歳で亡くなり、それ以来パチンコをやめました。四十五年で二〇〇〇万円損しました。

佐藤 富美男

町内会の新年会と重なりましたので、欠席させていただきました。ご盛会をお祈り致します。

佐野 俊壽

足が不自由になり、週二回介護を受けています。

澤田 光威

九十歳の壁に到達するよう頑張っています。

三瓶 和男

四月より栃木年金事務所勤務になりました。北関東ライフを楽しんでいます。

白岩 忠信

歳とともに目はかすみ、耳は遠くなり、足腰も弱まりつつありますが、なんとか穏やかに過ごしております。今年もこのような状態でなんとか平穩に過ごしたいものです。残りの人生、身体堅固・家内安全・世界平和を祈念しながら、ヨタヘロでいくことにします。

鈴木 誠一

ご盛会をお祈り申し上げます。

清和 秀光

八十歳を超し、体力、氣力の落ち込みを自覚するようになりました。趣味は読書と言ってききましたが、本を読む根気がなくなりました。老眼の目をしよぼしよぼさせて文字を追いかけるのはかなり疲れを感じます。また、新しい作家の本を探すのがおっくうになりました。本屋通いも以前は、週一行っていましたが今は月一程度です。毎日一万歩の歩きは続けています。一月から十一月末まで五百万歩になりました。朝、昼、夕方と三回に分けて歩いていますが、

その一日平均が一万五千歩になるようです。

高野 勝亥

昔から溜め込んだものを整理しようと思いつきながら、ことしも一年すぎたしまいました。

谷野 春雄

一月十二日(日)に私も出演するテルサ寄席があります。見に来てください。

丹野 茂生

大変ご無沙汰しております。令和六年四月より地元会津若松で勤務しています。よろしく願い致します。

角田 廣好

在任中は大変お世話になりました。皆様によりしくお伝えください。

坪谷 忍

新年あけましておめでとうございませう。みなさまのご健康をご祈念申し上げます。スキー関連行事が忙しく、残念ながら欠席します。病氣もせずに頑張っています。

野地 宏三

所用があつて出席できません。地元の老人クラブ(総員六十名いますがいつも活動しているのは約三十名です。)の会計になり頑張っています。

橋本 清太郎

出来るだけ手作りのお節料理をと思いつきながら、毎年一品くらいずつ減っているかな。白内障の手術も済んで世の中、明るくなりましたが、緑内障他の眼病もあり、年齢かい。でも元気です。

箱崎 桂子

どうか良いお年をお過ごしください。当方、幸い生きながらえております。数名の同級生をなくし悲しんでいます。

橋本 克彦

年を重ね、日々、元気、感謝で過ごしています。

原田 昭雄

腰痛に悩みながら、何とか生活しています。ご盛会をお祈りしています。

馬場 悦子

夏から秋を飛び越えて冬になり、寒がり屋の私は、家に閉じこもることが多く、たまの外出と医者通いが日課となっています。春が待ち遠しい。

百軒 孝俊

福島事務所勤務も三年に入りました。今年も精一杯頑張ります。引き続きよろしく願います。

船木 豊史

昨年と変わりなく過ごしております。

古川 宏幸

明けましておめでとうございます。良い一年であり、支部のますますの発展を祈念致します。昨秋から、日に八千歩と週一のラウンドで五穀紬りしました。後期高齢入ります。

堀川 俊成

大変ご無沙汰しております。青森勤務が三年目に入ります。

本田 秀明

頭の外だけでなく、中までも薄くなつてきて困っています。農作業のまねごとをしながらボチボチやっています。

松浦 壽夫

ヨラヨラしながら野菜づくり等をしてしています。

命長 廣司

足腰の痛み、目の病、医者は加齢が原因と言っていますが、取り敢えず治療に励んでいます。

向井 功

令和六年十月に石巻から仙台広域事務センターに異動となりました。引き続きよろしく願います。

安田 征夫

暮れからの感染症による体調不良のため欠席します。御盛会を祈念致します。

柳沼 弘

ご盛会をお祈りいたします。

遊佐 義一

変わらず元気です。ご活躍をお祈りいたします。

吉野 純夫

元気です。ご活躍をお祈りいたします。

渡部 和雄

福島県水彩展【会場：郡山市民文化センター／令和七年一月十八日(土)～一月二十三日(木)】出品に向けて、絵の完成に近づいているところです。

八十センチは二〇センチの大きさで、水彩画は年に何枚も描かないので苦労しています。今回は女性三人の群像を描いています。令和六年十二月十七日投函

渡辺 貞行

白河勤務二年目となります。今後、事業推進にご協力をお願いします。大分寒くなりましたが、健康のためウォーキングは続けております。

渡部 高行

相変わらず平凡ですが、元気に過ごしています。

渡部 晴秀

耳寄り情報
コーナー

第16号

酒井 君穂さん
『特選』に!!

令和六年十月十一日から十三日に開催されました、令和六年度福島県芸術祭主催行事の「第四十八回福島県書道連盟展」において、惜しくも大賞とはなりませんでした

が「特選」となりました。素晴らしいことです。次に目指すは「大賞」です。傘寿を迎えられましたが益々楽しみながら頑張ってください。

お礼のお便りが届いております

◎新妻 惇さんより (九月投函)

前略 残暑お見舞い申し上げます。さて、この度私の傘寿に際し、縁起物揃いの「菊屋の羊羹」をいただきありがとうございます。八十歳になり、以前のように畑を耕したり四季の野菜を作り楽しんでいた時もありましたが、年とともに物忘れ、置き忘れも激しくなりお互いを思いながら生活をしているところです。残暑、猛暑が続いており厳しい毎日ですが会員の皆様のご健康と社会保険倶楽部の発展をお祈り申し上げます。草々

◎酒井 君穂さんより (九月二十四日投函)

前略 このたびは私の傘寿に際し、ご丁寧な祝詞と記念の菓子折りを頂き誠にありがとうございました。「菊屋の羊羹」を食べると、福島勤務の頃が懐しく思い出されます。丁度居合わせた娘家族に半分は大変喜ばれました。人生百年時代、登山という八合目に達しました。頂上では何が見えるのだろうか。途中下山になりそうだが、期待と不安のま、又一步踏み出したところ。趣味の書も、やっと頂点が見えてきた。残念ながらこの歳になると、気力体力が減少し筆運びが思うようにならず苦労の連続です。飽きもしないで書いています。これも老いの道楽でしょうか。何も急ぐ必要はないが、最高位に達したら美酒で乾杯、その日を楽しみに頑張っています。今日は秋彼岸の中日です。会津は一転秋めいて連日の猛暑が嘘のようです。紀節の変わり目、皆様にはどうぞご自愛ください。まずはお礼申し上げます。草々

◎原田 昭雄さんより (十一月投函)

この度は、私の傘寿に際しお祝いの言葉と記念の品をお送りいただき誠に有難うございました。福島在任中は大変お世話になりました。早いもので離任して二十八年の歳月が経ちますが今もって懐かしく思い出されます。おかげさまで私もなんとか健やかな日々を送らせていただいております。会員の皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。まずはお礼まで。

編集後記

一月十八日支部新年会が開催されました。福島の厳しい冬にも関わらず平地区からの参加者、遠方よりの参加者もあり、数少ない支部事業(?)に参加いただき、感謝申し上げます。と共に大変ありがたく感じているところでもあります。会員の皆様と日常生活が何事もなく送られて楽しくお話ができることの幸せを感じる昨今の情勢です。

テレビ、新聞等のマスコミでは、一九九五年一月十七日の阪神淡路大震災から三十年が経過し当時の被害の状況等が報じられています。改めてその被害の大きさ、被災された方々を考えますと心に痛みが走ります。

二〇一一年三月十一日、忘れることのできない東日本大震災・東京電力の原発事故、間もなく十五年目を迎えます。自宅に帰れない方々がまだまだ多くおられます。それぞれ望みが異なるかと思いますが、一人一人の思いが叶えられますことを願っております。

元気で六月の支部総会を迎えましょう!!

発行 社会保険倶楽部福島支部
編集・発行人 星 善作
電話 〇二四(五)五九三二一